

各学校の取り組み紹介

蒲生南小学校

文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官の小倉氏を指導者として招聘し、3年生以上の全学級で社会科の公開授業を行いました。放課後には教職員による研究協議が行われ、小倉氏から学校の研究に関するアドバイスをいただきました。



蒲生小学校

6年生は「総合的な学習の時間の授業」で、日本と外国の文化を比較しながら、探究的な学習に取り組んでいます。その中で、日本の伝統文化のひとつである阿波踊りについての体験学習を行いました。南越谷阿波踊りは日本三大阿波踊りとも言われています。



南中学校

昨年度に引き続き、下記の日程で、越谷市役所の危機管理室や消防局の方のご協力を得て、防災教育を実施していきます。様々な体験活動とおして、災害時に自他の命を守るための行動や避難所の開設等について学んでいきます。

	授業内容	支援団体	授業実施予定日	
1学年	段ボールバット・簡易トイレ等設置体験学習	危機管理室	11月5日(水)	11月26日(水)
2学年	普通救命救急講習	消防局	11月4日(火)	11月25日(火)
3学年	避難所運営ゲーム(HUG)	危機管理室	1月15日(木)	

(仮称)蒲生学園 Q&A

令和9年4月の(仮称)蒲生学園開校に向けて、関係小中学校においては、小中一貫教育の一層の充実に向けた取り組みや、新しい校舎への引越しに向けて着々と準備を進めているところです。ここで改めて、小中一貫校についてのご質問にお答えいたします。

Q 小中一貫校とはどういうものですか。

A (仮称)蒲生学園はいわゆる小中一貫校といわれる「小中一貫型小学校・中学校」です。**小学校及び中学校の枠組みは残したまま**、9年間の一貫した教育計画を編成・実施する学校です。つまり、小学校の卒業式や中学校の入学式はこれまでどおり実施されます。

Q 施設はどのようにになりますか。

A 蒲生小と南中については、施設一体型小中一貫校の新校舎(R8.9月～蒲生小供用開始、R9.4月～南中供用開始)で学校生活を送ります。現蒲生小の北体育館は現状のまま使用し、プールや体育館(アリーナ)は校舎内に設置されます。また、特別教室は小学校と中学校で別々に設けられます(図書室、相談室は共用)。なお、蒲生南小の校舎は引き続き使用します。

Q 制服や体育着などの変更はありますか。また、小学校も制服になるのですか。

A 最終的には校長判断となりますが、現時点で制服や体育着などについて、変更の予定はありません。ジャージと体育着については、令和7年度から小中学校で統一しております。また、小学校については、現在と同様に制服の指定は予定しておりません。

Q 開校時(令和9年度)の児童生徒数はどのくらいになりますか。

A 令和7年5月現在での見込み数は、蒲生小936人、蒲生南小521人、南中657人です。

Q 部活動はどうなりますか。

A 部活動は、現在同様に中学校1年生から実施する予定です。令和9年度以降の部活動の種類や活動内容に関しては、校長が判断することとなります。

Q 令和8年度の蒲生小の校庭は使えますか。

A 令和8年9月に新校舎が供用開始(蒲生小学校)になると同時に、現蒲生小学校校舎の解体工事が始まります。さらに校庭整備の工事も実施するため、校庭使用については広範囲に及んで制限が出てきます。校庭整備の開始時期や範囲等については、改めて説明会を開催し、ご説明させていただきます。

本紙の他に越谷市公式ホームページやX(旧Twitter)もぜひご覧ください



越谷市ホームページトップページ
> 子育て・学び > 教育
> 小中一貫校

小中一貫校だよりの
カラー版を掲載しています

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp>



@koshi_ikkan

越谷市教育委員会
学務課小中一貫校整備室

https://twitter.com/koshi_ikkan